

とあらわれ、お不動様のお体にしがみついだだど。これらの螺のお陰でお不動様は火事からまぬがっちゃだど。

それ以後今でも両堂では、「螺をたべてはならない」と言わっちんだど。

太子堂は、焼失しっちゃまったので、延宝三年廃寺となってしまうただど。そんな、昭和五十八年不動様の東側に再建さっちゃだど。

日本三大不動尊の由来として、次のような言い伝えがあんだど。

昔々、あるお坊さんが修行のために全国を旅してただど。

そんなある日、大雨で洪水になっただど。雷雨の激しさと恐ろしさで身をすくめていると目の前にひとりの老人が立っておっただど。

この老人は、

「この洪水が治まったならば、私の言ったとおりにしなさい。そして、不動明王をお祀りしなさい。」